

長野冬季五輪開幕



信濃毎日新聞社
 長野本社 〒380-8546
 長野市南県町 657番地
 電話(026)
 受付236-3000編集236-3111
 販売236-3310広告236-3333
 松本本社 〒399-8711
 松本市宮田 2番10号
 電話(0263) 編集25-2151
 販売... 広告... 事業25-2153
 ©信濃毎日新聞社1998年

「平和と友好」世界へアピール

号外

長野五輪



第1日



開会式前、「歓喜の歌」の合唱指導をする小沢征爾さん

第十八回冬季五輪長野大会は七日、長野市の南長野運動公園で開会式を行い、二十世紀最後の冬季五輪が幕を開けた。

経済格差や民族紛争など、さまざまな壁を超え史上最多の七十二の国・地域から選手・役員約三千五百人が参加。二十二日までの十六日間、長野市、北安曇郡白馬村、下高井郡山ノ内町、同野沢温泉村、北佐久郡軽井沢町の五市町村を会場に、七競技六十八種目で競い合う。

会場周辺は
 厳重な警戒

善光寺の鐘が午前十一時、開幕を告げた。諏訪の御柱祭「建御柱」、大相撲横綱曙関が土俵入り。国内で開く五輪は七十二年札幌冬季大会以来、二十六年ぶり。「子どもの参加」「豊かな自然との共存」「平和と友好」を基本理念に、五輪そのものの変質に揺れながらも、世界の若者を迎える舞台は華やいた。

競技は同日午後四時から、男子アイスホッケーの予選リーグが始まる。

開会式会場には五輪組織委員会などの約百人が寝袋で泊まり込んで式典に備えた。周辺では未明から多数の警察車両が警戒。観客の入り口では荷物検査に長い列ができた。要入り口の警備を担当する係員は「無事に終えたい。それだけです」。

会場から約二キロ離れた長野市稲里町の長野県警総合警備本部。約四千人の警察官が会場を中心に二十四時間の警戒態勢を続ける。

午前八時すぎには大相撲の力士たちが会場に着。大関貴ノ浪関は「けっこう寒いね。でも頑張ります」と笑顔で語った。

号外紙面は、インターネット信濃毎日新聞ホームページにも掲載しています。
<http://www.shinmai.co.jp/olympic/>

携帯電話・ポケットベル サービス

NTT DoCoMo

伝えよう世界へ、長野の感動。

NTT移動通信網株式会社 長野支店
 URL <http://www.nagano.nttdocomo.co.jp/>



Official
 携帯電話・ポケットベル
 サービス

ドコモはNTTグループとして
 長野オリンピックを応援しています。